

## B - 1 意欲がつながる

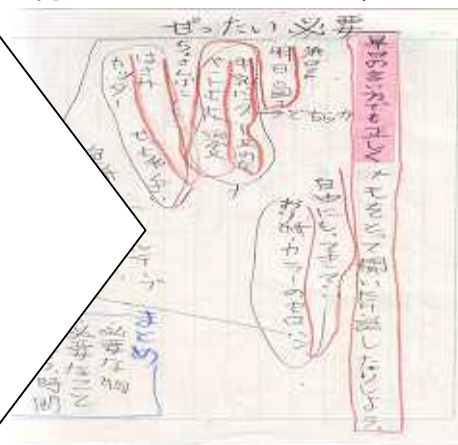
学習過程の「共有」では、《意欲がつながる》を目指して、児童が主体的に授業を進めるための課題づくりや課題解決に必要な情報を取り出す学習活動を行う。

### (1) 学習課題を作る（知る）

課題作りは、次の「表出」で子どもたちが考えを表現するための見通しを立てるものであり、まとめを意識したものである。



- ・課題の一部を自分のことばで書く。
- ・課題に児童の考えや言葉を生かす。
- ・まとめへ向かうための課題にする。
- ・考えた課題を赤枠で囲む。
- ・付箋の色で、考えの変化が分かる。



〔4年生国語 「伝言はまちがえずに」の授業で試みた課題作り〕

児童が能動的に授業を進めるための課題作りである。付箋の色を変えることで、児童の問題の捉え方や思考の変化が分かり、目標に到達できる課題を考えることができる。

### (2) 情報を取り出す

既習の学習を活かして、課題作りに必要な情報を取り出す活動を行う。ここでは、個人学習・ペア学習・グループ学習を取り入れている。ペアやグループで学習することにより、自分の考えを相手に伝えやすく、相手との距離が縮まることにより話し合う・聞き合う学習がより深まっていく。さらに、自分の思いが受け止められることにより、学習に対する意欲とともに互いの考えを交流し認め合う場が生まれてくる。



〔1年生国語「は・を・へ・をつかってかこう」  
「は・を・へ」をつかった文を書くために、  
ペアになって、絵本の登場人物の様子を読み  
取っている。〕



〔6年国語 短歌・俳句の世界「短歌の情景を読み  
取るう」  
個々でイメージした短歌の情景から、課題解決に  
必要な情報を取り出している。〕

